

なくそう交通事故!



夏は、行楽などで自動車を長距離運転する機会が増えるほか、暑さやレジャーの疲れから運転手の注意力が散漫になりやすい季節です。

7月11日(火)～20日(木)は、夏の交通安全県民運動の実施期間です。

交通ルールを守り、思いやり運転で交通事故をなくしましょう。



市民一斉交通安全街頭大監視

時 7月14日(金) 7時30分～8時30分
※時間は目安のため、天候やご都合に合わせて短縮可。
場 主要交差点、通学(園)路、事業所前等
問 防災安全課 ☎84-0626

戦争犠牲者に黙とうを



その他

広島と長崎に原爆が投下された太平洋戦争が終わり、今年78年を迎えます。
広島・長崎の原爆死没者および戦争で犠牲になられた方々のご冥福と核廃絶、世界の恒久平和を祈念し、次の日に市内一斉にサイレンを吹鳴します。

市民の皆さんも1分間の黙とうを行い、戦争で犠牲になられた方々のご冥福をお祈りください。

時

- ① 7月24日(月) 10時38分
(半田空襲の日)
- ② 8月6日(日) 8時15分
(広島原爆の日)
- ③ 8月9日(水) 11時2分
(長崎原爆の日)
- ④ 8月15日(火) 12時
(終戦記念日)

問 総務課 ☎84-0613

ごん吉くんレポート

～南吉よもやま話～

第67回

南吉の詩から生まれた絵本



2023年は新美南吉生誕110年

新美南吉記念館では、7月15日(土)～10月29日(日)まで新美南吉生誕110年「南吉と長野ヒデ子の母の世界展」を開催します。

南吉作品には、早くに実母を亡くした南吉の思いからか、しばしば優しく温かい母親が描かれています。そして長野ヒデ子さんは、自分自身が母親であったことをきっかけに絵本作りを始め、たくさんのお母さんを描いてきた作家です。これまでも「狐」など南吉作品から絵本をつくったことがありました。今年の5月に長野さんが出版した絵本『てんごく』は、南吉の詩「天国」から生まれた作品です。南吉の詩から長野さんが感じた「天国」を、絵本そして原画を通して皆さんにも感じていただけたらと思います。

※8月13日(日)には講演会も開催します。詳しくは、はんだ市報3ページをご覧ください。

天国

おかあさんたちは
みんなつの、天国をもっています。
どのおかあさんも
どのおかあさんももっています。
それはやさしい背中です。
どのおかあさんの背中でも
赤ちゃんが眠ったことがあります。
背中であつちうちにゆれました。
子どもたちは
おかあさんの背中を
ほんとの天国だとおもっていました。
おかあさんたちは
みんなつの、天国をもっています。

新美南吉



絵本『てんごく』(のら書店、令和5年刊)